

申込書の作成にあたって（計画航海参加型）

この申込書は、研究船共同利用運営委員会が主席研究員と協議して、選考並びに研究計画案の作成をする際に重要な資料となりますので、正確に記入してください。

1. 平成 30 年度に予定されている白鳳丸航海（別紙 3）に参加して実施する小規模な研究計画として下さい。MSR 申請を必要とする海域を希望される場合は、予定されている航海において既に申請されている内容の範囲内での実施となりますので、事前に研究代表者にご相談ください。
2. 研究課題：一つの研究課題と考えられるものを複数に分けて申請することは避けて下さい。所属にかかわらず、同一の研究グループによる同一の研究内容の申し込みは、一つの申し込みにまとめて提出してください。
3. 研究代表者・分担者：すべての研究分担者（大学院学生等を含む、ただし実質的に研究を分担する者に限る）の氏名・研究分担・所属機関・職名（学年）を記入してください。来年度入学予定の大学院学生に関しては、氏名欄に氏名の代わりに“入学予定”と記入し、予定の研究分担、所属機関、学年を記入してください。「旅費負担」欄は、申し込み者の研究予算で負担可能の場合は“有”、そうでない場合は“無”としてください。なお、共同利用予算に制約があるため、“無”とされた場合でも、一部の負担をご相談することがあります。「乗船・非乗船」欄は、研究分担者のうち乗船予定の方に“○”としてください。
4. 必要観測時間：観測に要する実時間（寄港地から観測海域までの回航に要する日数を除く）を記入してください。
5. 研究目的・内容：研究の背景・目的・内容・重要性等を、分かりやすく枠内で記載してください。研究業績欄に記載されている成果を適宜引用してください。
6. 研究計画：研究目的を達成するためにどのような観測を実施するのか、測点、測線、観測時間の算出根拠等を分かりやすく記載してください。他の計画との関連、他の研究機関との連携等、審査の参考となるものがあれば枠内で書いて下さい。観測海域と

観測点の概略が分かる簡単な地図も記載してください。今までに白鳳丸での使用経験のない観測機器での調査、浅海域での調査など、実施可能性について技術的な検討が必要な課題については、事前にお問い合わせいただいた上で応募してください。

7. 研究業績：本研究計画に関連する業績について、枠内で記載してください。研究代表者名には二重下線、研究分担者名には下線を引いて下さい。また、白鳳丸・淡青丸・新青丸を使用したものについては、それぞれ（H06）（T10）（S16）のように航海年度とともに示してください。
8. 乗船時に外国の大学・研究機関等に所属する乗船者は、共同利用手続き上、日本の大学・研究機関等に受け入れていただかないと、共同利用経費からの旅費・食費等の支給ができません。
9. 日本の領海（12 海里）外に機器を設置・放流する場合、輸出貿易管理令で規定する機器に該当するかどうか確認してください。採択された場合、該当機器は研究者が所属する機関を通じて許可申請を行ってください。